

令和2年（2020年）10月22日

東日本台風災害の復旧状況周知に関すること  
建設部 建設政策課 技術管理室 基準指導班  
青木 謙通（室長） 玉川 博之（担当）  
電話：026-235-7312（直通）  
026-232-0111（代表）内線3329  
F A X：026-235-7482  
E-mail：gijukan@pref.nagano.lg.jp

住民アンケート調査結果に関すること  
建設部 砂防課 調査管理係  
藤本 済（課長） 河野 義隆（担当）  
電話：026-235-7316（直通）  
026-232-0111（代表）内線3466  
F A X：026-233-4029  
E-mail：sabo@pref.nagano.lg.jp

## 令和元年東日本台風 土砂災害時の警戒避難に関する 住民アンケート調査結果概要

土砂災害を経験した住民、関係機関の皆様の防災意識や災害時の行動から見えた  
今後の取組

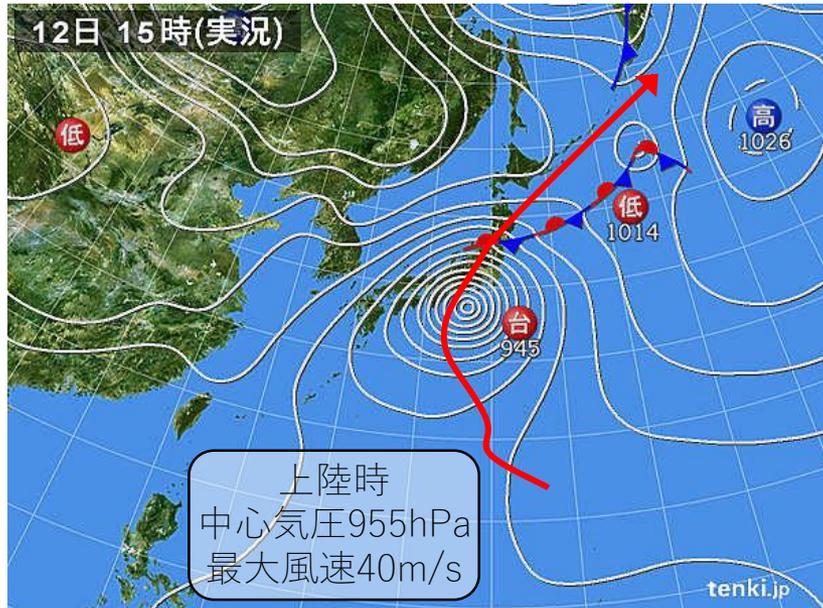
令和2年10月  
長野県建設部

# 令和元年東日本台風（台風第19号）の概要

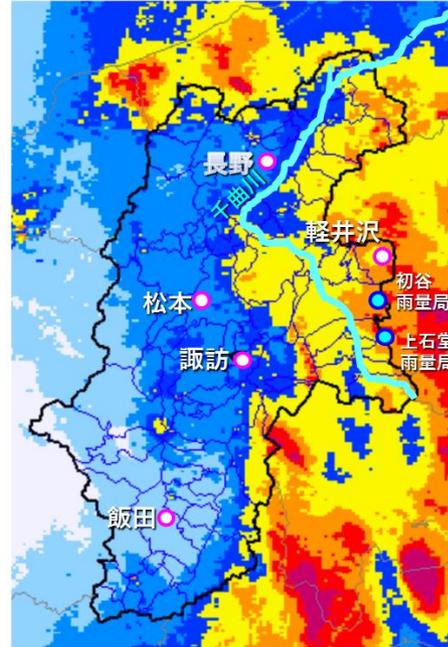
## ■ 気象概況

10月6日に南鳥島近海で発生した台風19号は、マリアナ諸島を西に進みながら、7日には大型で猛烈な台風となった。その後、小笠原近海を北北西に進み、12日には北よりに進路を変え東海道沖を北北東に進んだ。

12日19時前に大型で強い勢力のまま伊豆半島に上陸した後、関東地方を通過し、13日未明に東北地方の東海上に抜けた。



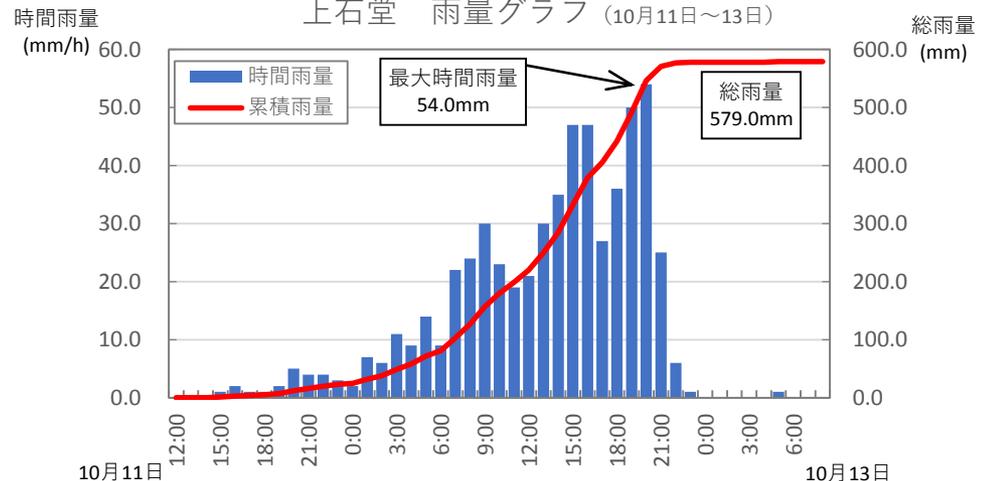
総降水量（レーダー解析雨量）  
(2019年10月12日～10月13日の48時間)



台風の接近、通過に伴い、県内では東信地方を中心に記録的な大雨となり、佐久穂町上石堂（下記グラフ）や佐久市初谷（568mm）では、年間平均降水量の5割以上となる500mmを超過する降雨量となった。

この大雨により、土砂災害警戒情報を42地域に発表。また、大雨特別警報が43市町村に発表された。

出典：長野地方気象台  
「令和元年台風第19号に関する長野県気象速報」より





# アンケートの実施内容

## アンケート調査の概要

### ◎調査目的

令和元年東日本台風における土砂災害発生地域に居住する住民の事前の備えや防災意識・災害時の行動を調査・検証し、「防災意識向上の取組」に活かすため、住民アンケート調査を実施

### ◎対象地域

上田市、佐久市、佐久穂町、長和町、筑北村の土砂災害発生地区  
(土砂災害による人的被害は無し)

### ◎調査方法

令和2年3月から4月、家屋被害を伴う土砂災害発生地域に居住する世帯に調査票を配布、郵送による回収また、防災担当者へのヒアリングを実施、回答結果を集計・分析

### ◎設問

全32問、土砂災害に関する事前の対策や防災意識、災害時の行動に関する内容

# アンケート結果<回答集計数>

## ■配布数及び回収数

### ◎配布・回収数

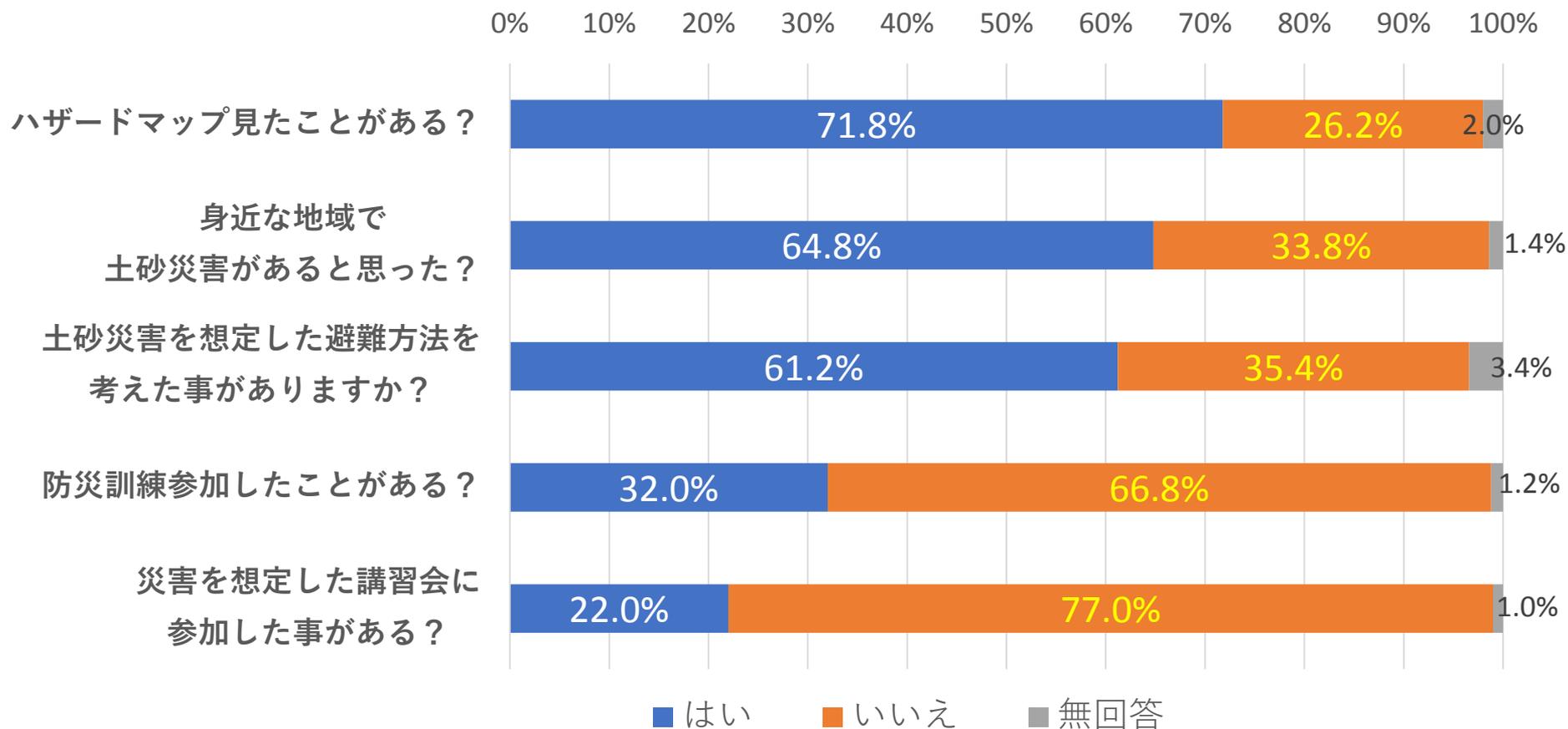
配布数：1,248件、回収数：500件（回収率40.1%）



アンケート集計内訳

市町村名	配布	回収	回収率
筑北村	33件	19件	58%
長和町	15件	6件	40%
佐久穂町	115件	49件	43%
佐久市	48件	16件	33%
上田市	1037件	410件	40%
合計	1248件	500件	40%

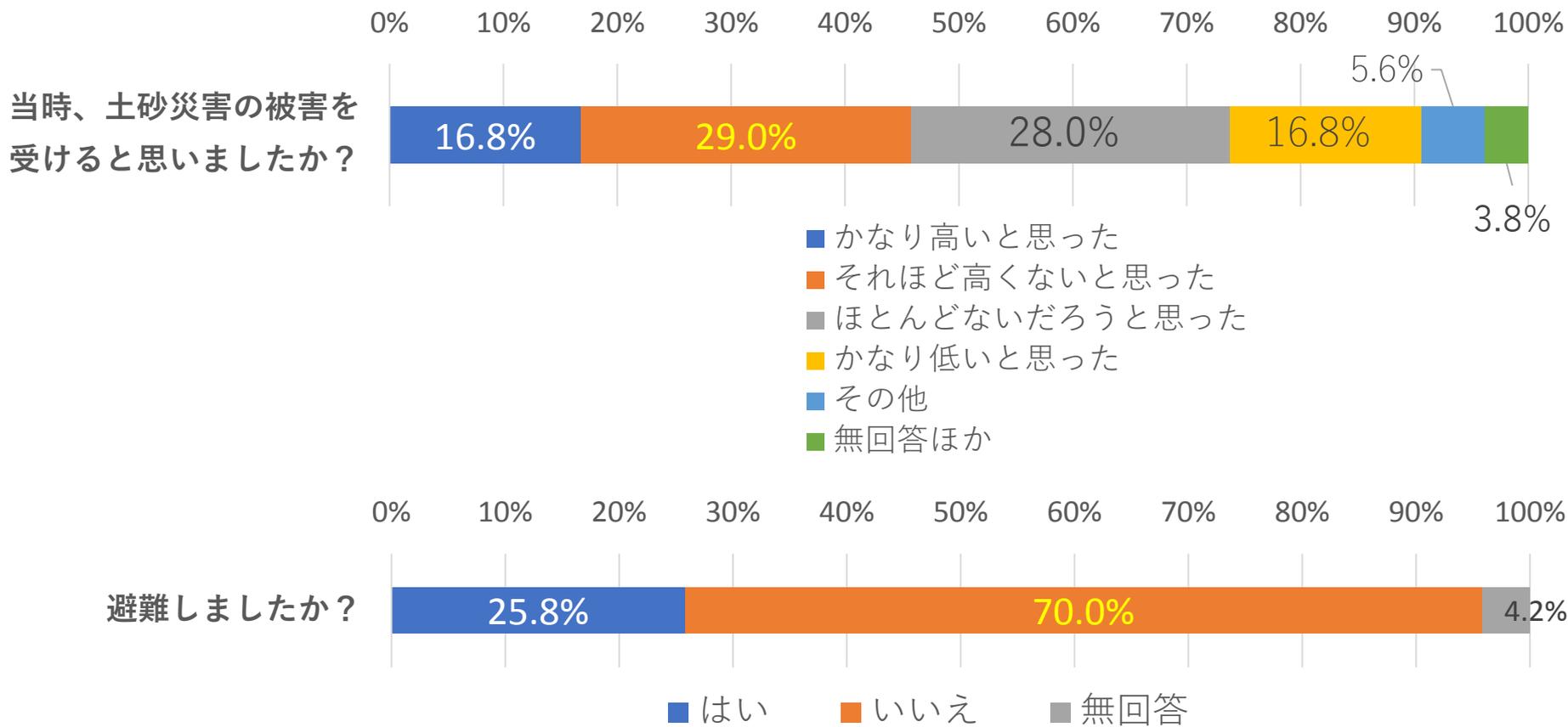
# 防災意識



●ハザードマップの認知度（71.8%）や内容の理解度（64.8%）は高い

●防災訓練や講習会等への参加率は低い

# 災害時の避難行動（避難）

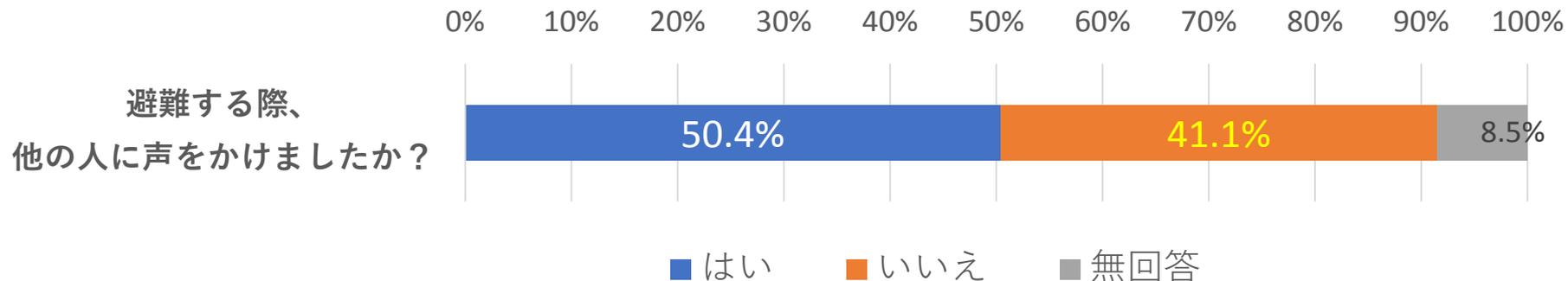


●台風接近当時、被害を受けると感じた方は、16.8%

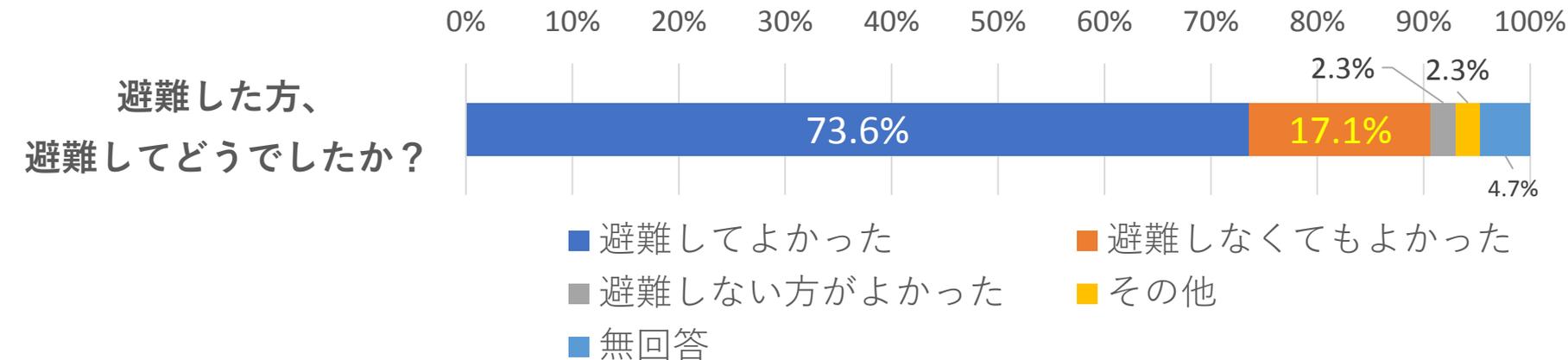
●実際避難した方は、25.8%（500名のうち、129名が避難）

# 災害時の避難行動（避難）

●避難した方129名（25.8%）のうち、半数の方が「声掛け」をしながら避難した



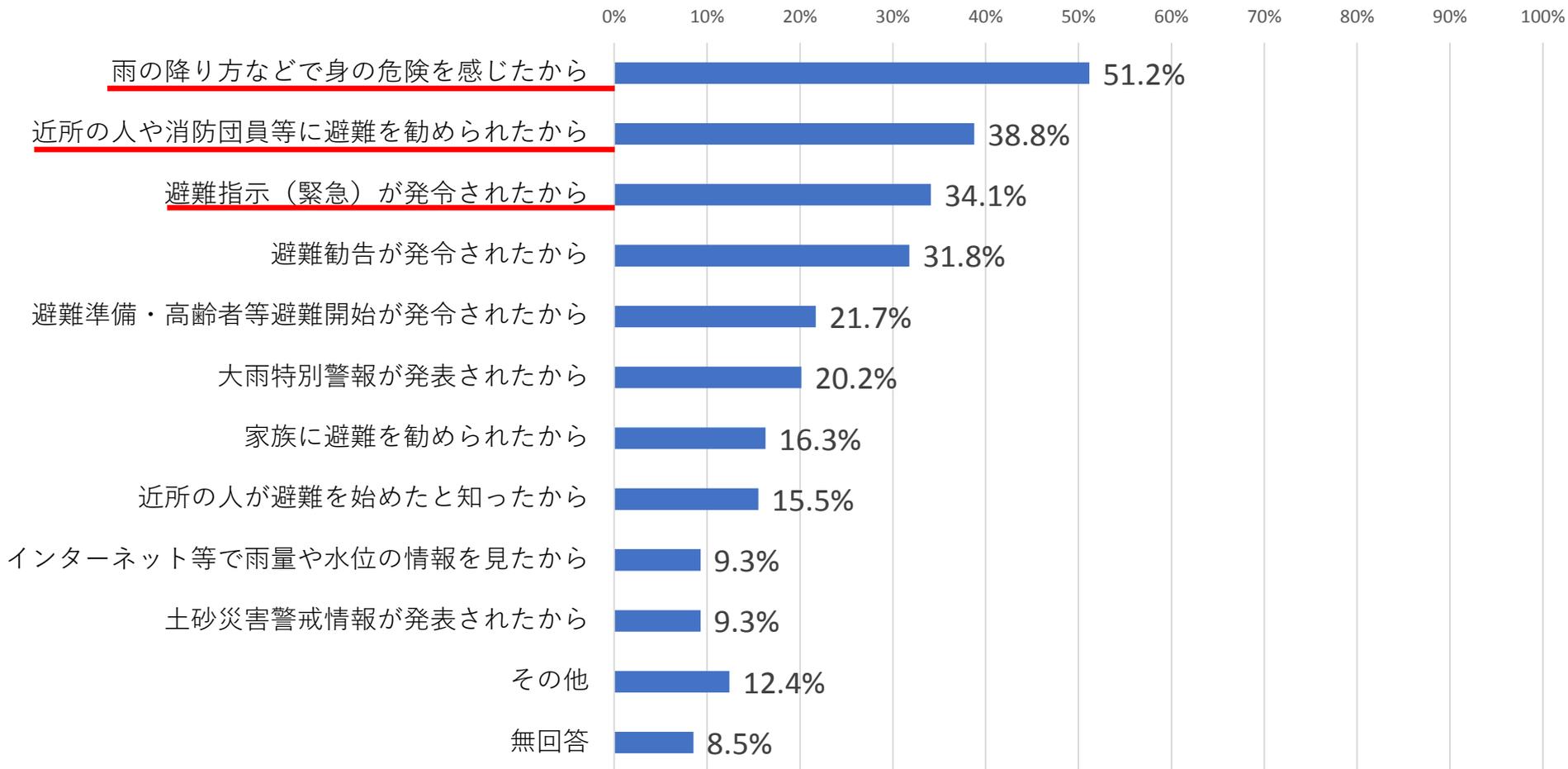
●避難した方129名（25.8%）のうち、7割を越える方が「避難してよかった」と回答



# 災害時の避難行動（避難）

避難した129名に質問

## ○避難した理由は（複数回答）



●身の危険を自ら感じた方は、51.2%

●近所の人や消防団等に勧められた（声掛けを受けた）方は、38.8%

# 災害時の避難行動（避難）

避難しなかった350名に質問

## ○避難しなかった理由は（複数回答）

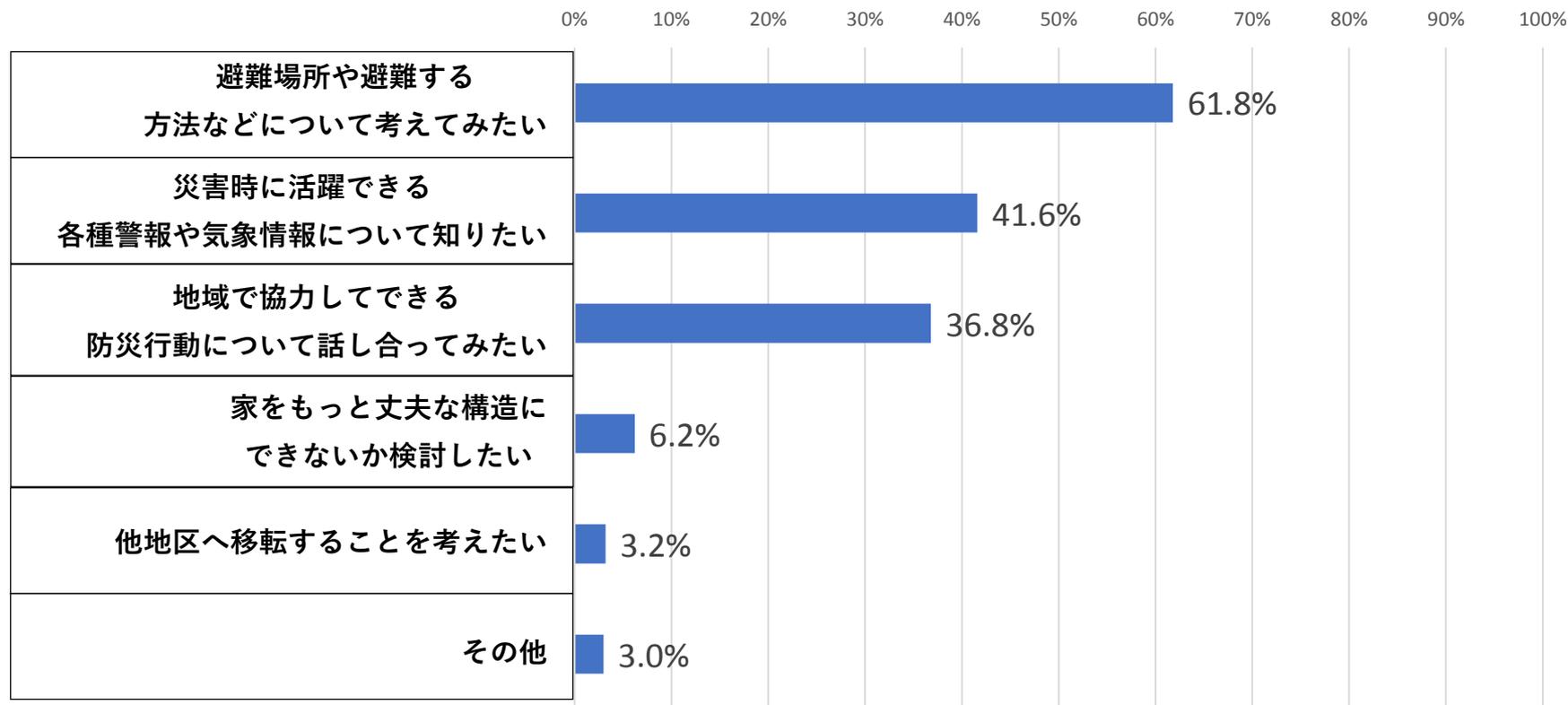


●被害にあうと思わなかった51.4%

●これまでに居住地域で災害にあったことがない44.3%

# これからの取組

## ○これから取り組みたい防災行動はありますか（複数回答）



### 【調査結果まとめ】

ハザードマップの認知度や内容の理解は高いが、防災訓練や講習会等への参加率は低い。実際に避難した方は、約26%（4人に1人）であり、その理由には「危険を感じた」とともに「近所の人等に声を掛けられたから」との回答も多かった。いざという時に危険から身を守る方法を身につけるため、防災訓練や講習会等に積極的に参加し、防災意識と地域での共助の力を高めていくことが重要。

# 調査結果分析 ～ 避難した人の傾向

## ◎各アンケート回答結果を基に関連を分析

Q.8 、 Q.22

防災訓練に参加した人のうち、避難した人  
41.3%

防災訓練に参加していない人のうち  
避難した人  
20.6%

防災訓練に参加し、かつ  
避難した人の割合は  
21%高い

講習会に参加すると、  
声掛けした人の割合が  
25%高くなる

Q.9 、 Q.22 、 Q.29

講習会に参加し、かつ避難した人の  
うち、声掛けした人  
82.4%

講習会に参加していないが、避難  
した人のうち、声掛けした人  
57.8%

Q.21 、 Q.22

声掛けを受けた人のうち、避難した人  
52.9%

声掛けを受けない人のうち、避難した人  
6.4%

声掛けを受けると、  
避難した人の割合が  
46%高くなる

Q.22

避難した人 全体の25.8%

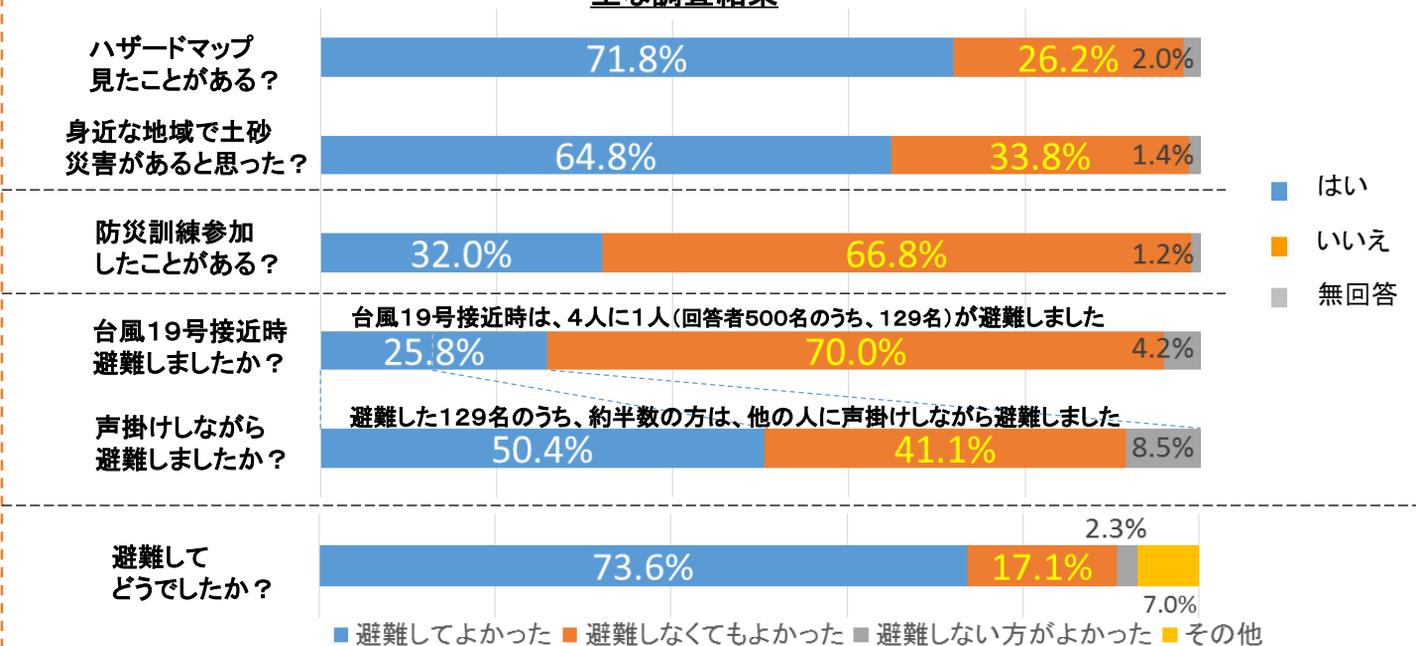
# 令和元年東日本台風 土砂災害時の警戒避難に関する 住民アンケート調査結果概要

土砂災害を経験した住民、関係機関の皆様の防災意識や災害時の行動から見た「三つの備え」の大切さ

## アンケート調査の概要

- ◎調査目的 令和元年東日本台風における土砂災害発生地域に居住する住民の事前の備えや防災意識・災害時の行動を調査・検証し、「防災意識向上の取組」に活かすため、住民アンケート調査を実施
- ◎対象地域 上田市、佐久市、佐久穂町、長和町、筑北村の土砂災害発生地区（土砂災害による人的被害は無し）
- ◎調査方法 令和2年3月から4月、家屋被害を伴う土砂災害発生地域に居住する世帯に調査票を配布、郵送による回収。また、防災担当者へのヒアリングを実施、回答結果を集計・分析
- ◎配布・回収数 配布数：1248件、回収数：500件（回収率40.1%）

## 主な調査結果



台風19号接近時は、4人に1人（回答者500名のうち、129名）が避難しました

避難した129名のうち、約半数の方は、他の人に声掛けしながら避難しました

## 【調査結果まとめ】

ハザードマップの認知度や内容の理解は高いが、防災訓練や講習会等への参加率は低い。実際に避難した方は約26%（4人に1人）であり、その理由には「危険を感じた」とともに「近所の人等に声を掛けられたから」との回答も多かった。いざという時に危険から身を守る方法を身につけるため、防災訓練や講習会等に積極的に参加し、防災意識と地域での共助の力を高めていくことが重要。

## 土砂災害から、いのちを守るためには

- ① 自分のいる場所の危険を知る
- ② 危険から身を守る方法を考える
- ③ 避難は声を掛け合って



三つの備えが肝心！

防災訓練や  
講習会に参加しましょう！

### 「三つの備え」を支援する事業を推進します。

- ・地区防災マップ作成支援（地区毎のマップ作成と地区での防災訓練を支援）
- ・赤牛先生派遣事業（砂防ボランティアによる地域での防災教育事業）
- ・ハザードマップWeb化（信州くらしのマップ、ハザードマップポータルサイト）



## 佐久建設事務所

### 令和元年東日本台風（台風第19号）の災害復旧に向けた取り組み

佐久建設事務所は佐久地域の一日も早い復旧・復興に向けて工事を進めています。

#### 佐久建設事務所の災害復旧工事の状況

佐久建設事務所は被災した公共土木施設（県管理）457箇所および砂防・急傾斜地8箇所（災害関連事業）で工事に着手し、78箇所（先月比+24箇所）。（令和2年9月末現在）



#### 佐久地域 災害復旧工事箇所MAP（9月末時点）



クリック

佐久地域 災害復旧工事箇所MAP  
（クリックして地図を確認！）

マップと工区  
毎の進捗状況  
を表示

